公益社団法人出雲市シルバー人材センター

理事会だより

第57号 発行:令和3年5月31日

令和3年度第2回(R3.5.7)理事会の会議 状況や決定したことについてお知らせします。

第2回の理事会は、理事9名中8名が、監 事2名中2名が、事務局から1名の職員が出 席しました。

第2回の議事は、報告2件(業務報告/資金 繰表について)、議案3件(正会員の承認/公 益社団法人出雲市シルバー人材センター令和 2年度事業報告及び収支決算・監査報告につ いて/第11回(通算第46回) 定時総会の開催 及び書面議決について)でした。

業務報告について

4月20日から5月6日までのセンターの 業務及び4月の勤務実績(理事長19日、常務 理事20日)の報告をしました。

資金繰表について

4 月分については、市からの補助金の交付があった関係もあり、月末残高が普通預金が4,183 万 2 千円、将来的に財政赤字が生じた際の補填のための財政運営資金積立の定期預金1,252 万円を合わせて5,435 万 2 千円となっていることを報告しました。

また、正味財産残高の今後の見込としては、 少ない時で 4,100 万円余りから多い時で 5,600 万円余りの間で推移する見込みである と報告しました。

正会員の承認について

4月17日から5月6日までに受け付けた5 名(男性3名、女性2名)の入会が承認されま した。

(公社)出雲市シルバー人材センター令和2年 度事業報告及び収支決算・監査報告について

令和2年度事業報告では、新型コロナウィルス感染拡大により、シルバー人材センターの受託事業・派遣事業ともに昨年度事業実績を下回りました。しかしながら、受託事業で対前年比▲5.1%、派遣事業で対前年比▲

4.3%と厳しい状況の中において減少を当初見込みより少なく抑えることができました。

また、収支状況で、平成27年度から平成30 年度まで4年間赤字決算が続きましたが、令 和元年度以降黒字決算となり、財政的にも安 定してきました。令和2年度末には、公益目 的事業の剰余金について、特定資産(財政運 営資金積立金)として積立て、今後財政赤字 が生じた際の補填金として備えました。その 他事業報告としては、会員の皆さんに配布し た定時総会議案書のとおりです。また、収支 決算報告については、貸借対照表に示すとお り、流動資産 5,483 万 5 千円、固定資産 1,293 万円で資産合計 6,776 万 5 千円、また、負債 合計は流動負債で2.556万7千円、正味財産 合計が 4,219 万 8 千円となったことを報告し ました。正味財産増減計算書では、経常収益 が前年度と比較し 1568 万 9 千円、経常費用 も 1,081 万 7 千円減少し、当期一般正味財産 が 656 万 8 千円増加したことを報告しまし た。その他財務諸表に対する注記、財産目録 等も提出しております。監査報告については、 事業報告は法令、定款に従った適正なもので あること、理事の職務の執行も適正になされ ていること、今期の業績についてもコロナ禍 において減少を最小限に抑えられたことなど 報告いただきました。

以上事業報告、収支決算、監査報告について理事会の承認をいただきました。

第 11 回(通算第 46 回) 定時総会の開催及び 書面議決について

本年度の定時総会はコロナ禍のため、昨年度と同様に書面議決で実施するとともに地区班世話人と役員に限定して、少人数開催することに決定しました。これにより正会員の皆さんに総会議案書に併せ議決権行使書面を送付することとしました。

※理事会を傍聴できます

理事会の傍聴を希望される会員は、事務局 へご連絡ください。なお、定員は8名です。

今後の理事会の予定:6月15日(火)、8月17日(火) (13:30-16:00 センター会議室)